

三年寝太郎



むかしむかし、寝太郎という若者がおりました。

村の人は皆、汗水たらして働いているのに

寝太郎だけ、毎日、朝から晩まで寝ているのです。

誰かが寝太郎を起こしても、

「わしは眠いんじゃあ、ああ、眠い眠い。」

と言って寝てしまいます。



窓



猫

鼠

太陽



そんな寝太郎も、少し前まではよく働く若者でした。
ところが、いくら頑張っても、

村の暮らしは少しも良くなりません。

なぜならば、村の田んぼに水を引くことができず、

夏に雨が降らないと、米が実らないからです。

「もういやじゃ、わしや寝るぞ。」

その日から、寝太郎は寝てしまいました。

次の日も、その次の日も、それからずっと寝続けました。